

FACT BOOK

2026年3月31日時点



小田急電鉄株式会社

I. 会社概要

主な事業エリア	4
沿線人口の推移	5
経営計画体系	6
株主還元	8
業績の概要	9

II. 事業内容

各セグメントの概要	10
沿線における取り組み	19

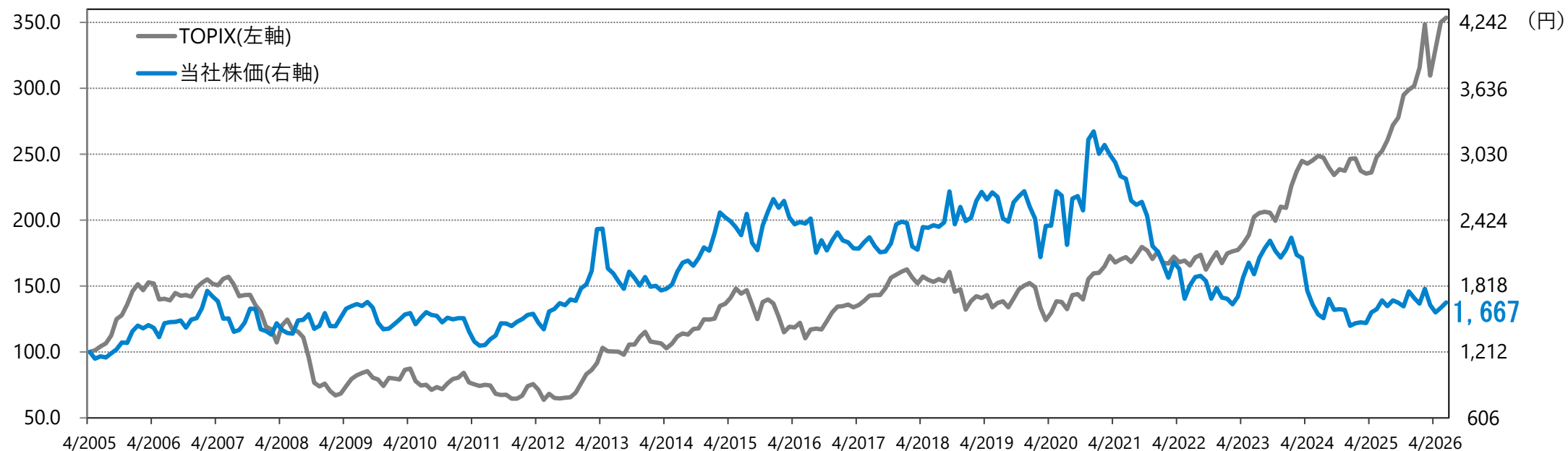
(参考) その他開示資料	29
--------------	----

I. 会社概要

■ 会社名	小田急電鉄株式会社
■ 設立	1948年6月1日（前身の小田原急行鉄道は1923年5月1日設立）
■ 事業内容（連結）	交通業、不動産業、生活サービス業
■ グループ会社	連結子会社：29社 持分法適用関連会社：1社
■ 従業員数（連結）	11,656人

■ 資本金	60,359百万円
■ 株価・時価総額	1,667円・614,285百万円（2026年6月30日時点）
■ 上場市場	東京証券取引所 プライム市場（証券コード：9007）
■ 発行済株式	368,497,717株（単元株式：100株）
■ 発行体格付	JCR：AA-（安定的） R&I：A+（安定的）

当社株価およびTOPIXの指数の推移



※ 当社株価は、株式併合（2016年10月 2株→1株）の影響を考慮した遡及修正後の数値

I. 会社概要 (主な事業エリア)

新宿を起点に、東京都・神奈川県を通る大手民鉄。
都心から、住宅地・観光地を結んでいることが特徴。

小田急線 路線の概要

営業キロ : 120.5km

1日平均輸送人員 : 196万人

駅数 : 70駅

(○1日平均乗降人員10万人規模 : 11駅)

小田急沿線 27市区町村の概要

面積 : 1,226km²

人口 : 523万人 ※ 2024年10月

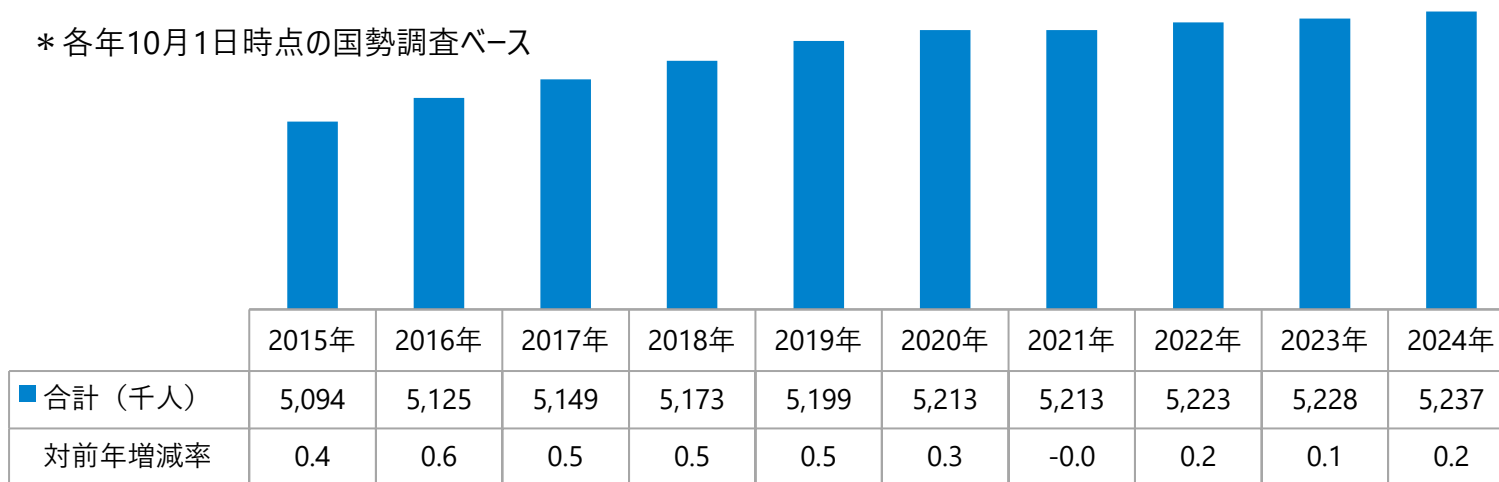
世帯数 : 266万世帯 ※ 2024年10月



I. 会社概要 (沿線人口の推移)

沿線人口の推移 (実績)

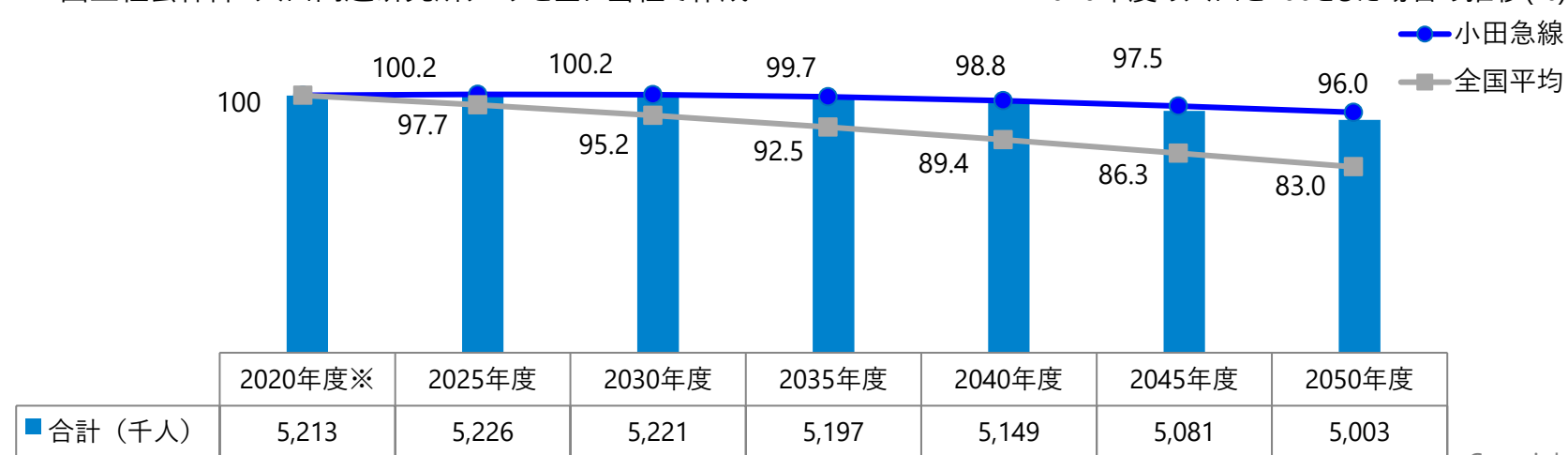
* 各年10月1日時点の国勢調査ベース



沿線人口の将来推計

* 国立社会保障・人口問題研究所データを基に当社で作成

2020年度の人口を100とした場合の推移(%)



< 小田急沿線27市区町村 >

東京都

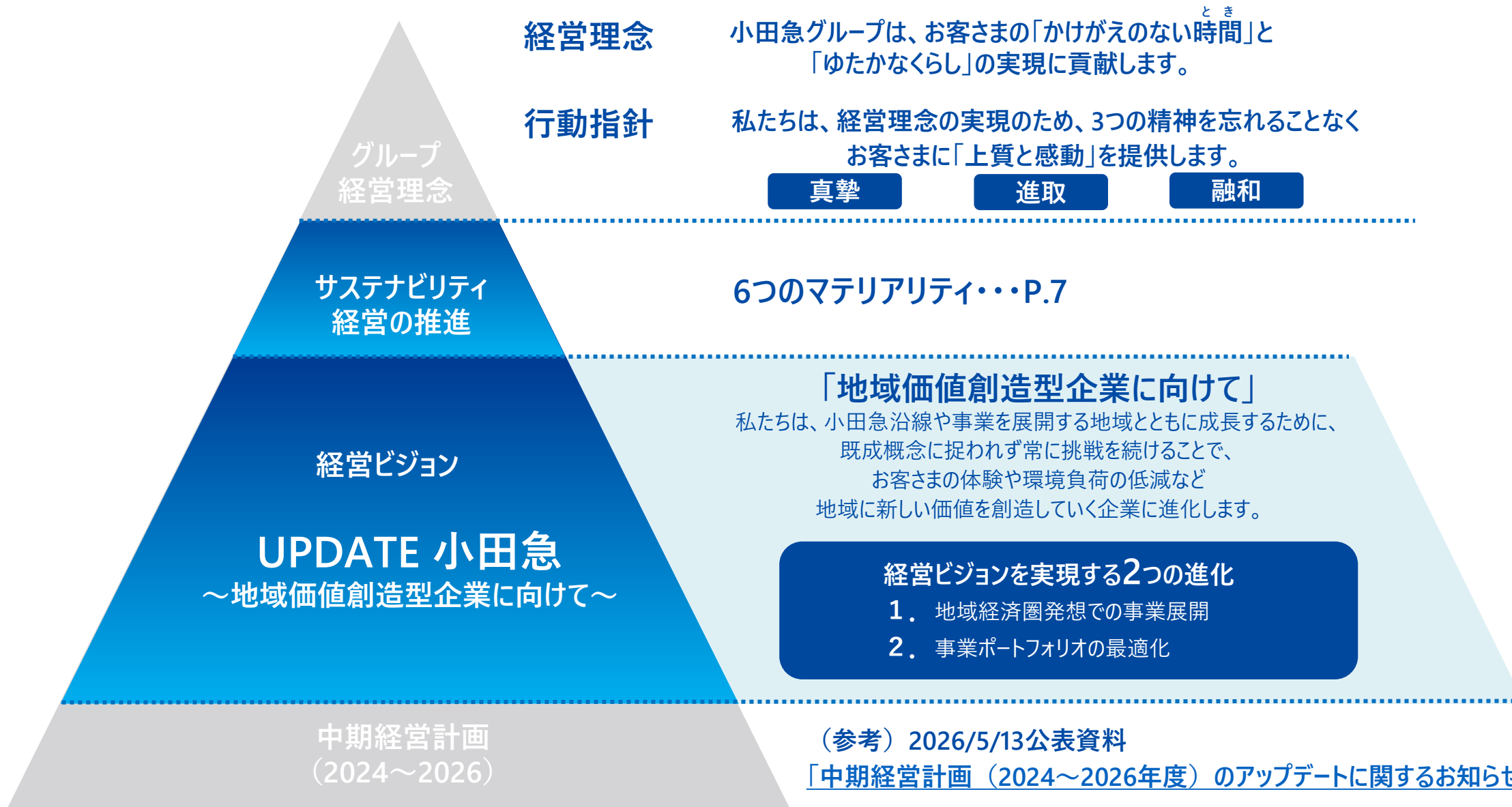
新宿区
世田谷区
多摩市
町田市
渋谷区
狛江市
稲城市

神奈川県

川崎市多摩区
相模原市※
海老名市
清川村
伊勢原市
秦野市
大井町
南足柄市
箱根町
綾瀬市
川崎市麻生区
座間市
厚木市
愛川町
中井町
松田町
開成町
小田原市
大和市
藤沢市

※ 合併4町を含んでいない
(相模湖町、津久井町、城山町、藤野町)

I. 会社概要（経営計画体系）



1. 会社概要 (6つのマテリアリティ)

マテリアリティ

目標・モニタリング指標

1. 安全・安心

- ◆鉄道業における自社起因の運転事故・インシデント数：ゼロ（毎年度）
- ◆バス・タクシー業における死者・重傷者の発生：ゼロ（毎年度）
- ◆小田急線 ホームドア整備率：47駅（67%）（2032年度）
- ◆小田急線 駅のバリアフリー化率：100%を維持（毎年度）
- ◆小田急線 一般車全車両における車いす・ベビーカースペース設置率（1両1ヶ所の設置）：62%（2030年度）／100%（2040年頃）
- ◆小田急線 駅係員の「サービス介助士」取得率：100%（毎年度）
- 鉄道サービスの総合満足度

2. まちづくり・地域社会

- ◆強化エリア主要駅の乗降客数（1日当たり）（2030年度／2040年度）
新宿：47万人／53万人 新百合ヶ丘：12万人／14万人
町田：27万人／30万人 海老名：15万人／16万人
- 沿線エリアの人口
- 居住地域の総合満足度
- 生き方（well-being）の総合満足度

3. 日々の暮らしと観光体験

- ◆小田急グループ観光収益：1,200億円（2030年度）
- ◆インバウンド収益：450億円（2030年度）
- 小児IC 定期外利用者数
- 小田急ONE ID数
- 沿線観光エリアの来訪者数（箱根町／藤沢市）
- ロマンスカー利用者数
- 箱根フリーパス販売枚数

4. 環境（カーボンニュートラル）

- ◆小田急グループCO2排出量：2013年度比△50%（2030年度）／実質ゼロ（2050年度）
- ◆小田急グループ 廃棄物排出量（収益原単位）：前年度比減（毎年度）
- ◆小田急グループ 取水量（収益原単位）：前年度比減（毎年度）

5. 人的資本の強化

- ◆女性従業員（正社員）比率：20%（2030年度）／35%（2050年度）
- ◆女性管理職比率：15%（2030年度）／30%（2050年度）
- ◆男性育児休業取得率：100%（2030年度）／100%（2050年度）
- ◆従業員エンゲージメントサーベイ回答率（単体）：100%（毎年度）
- ◆従業員エンゲージメントサーベスコア（単体）：
全体総合スコア：前年度を上回る（毎年度）
職場推奨度の平均：前年度を上回る（毎年度）
- 従業員一人あたり営業収益
- 専門人材数（不動産成長領域）
- 定員充足率（鉄道／バス）
- 障がい者雇用率（単体）

6. ガバナンス

- ◆重大な法令違反の発生件数：ゼロ（毎年度）
- ◆女性役員比率：30%（2030年度）
- ◆重大な情報セキュリティインシデント件数：ゼロ（毎年度）
- ◆取引先へのサステナビリティアンケート実施率：100%（2030年度）
- 独立社外取締役比率

I. 会社概要 (株主還元)

長期目標 (~2030年度)

- 2030年度までに自己資本比率を30%に圧縮 (2025年度末36.4%)
- 2026~2030年度累計1,800億円の株主還元 (2025~2030年度累計2,000億円)
- 2030年度 (連結財務目標達成年度) にかけて、**累進配当**を目指す

基本方針 (2023~2026年度)

- 自己資本比率30%の確保を前提に、2023~2026年度の平均で、連結総還元性向40%以上※を目標とした安定的な配当および機動的な自己株式取得を実施
※4ヵ年合計総還元額 / 4ヵ年合計親会社株主に帰属する当期純利益額 \geq 40%

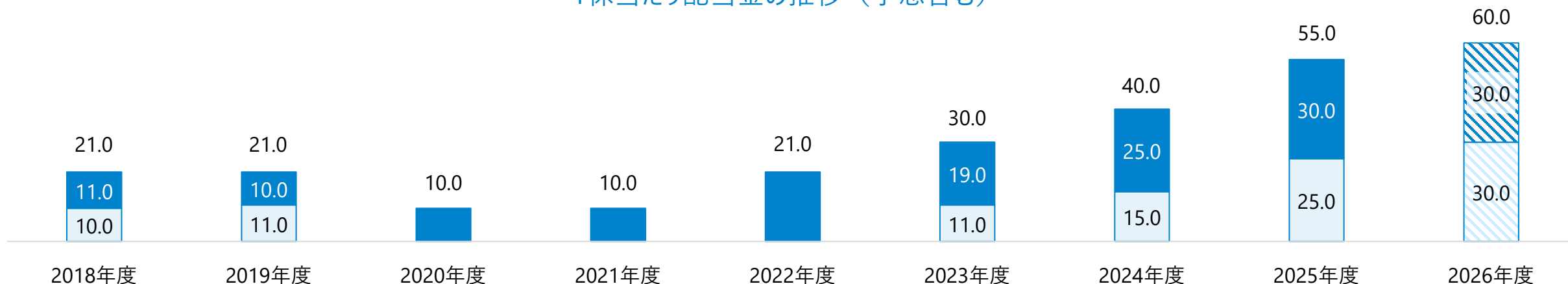
配当

- 2025年度：1株当たり**年間55円**
- 2026年度：1株当たり**年間60円**を予定

自己株式取得

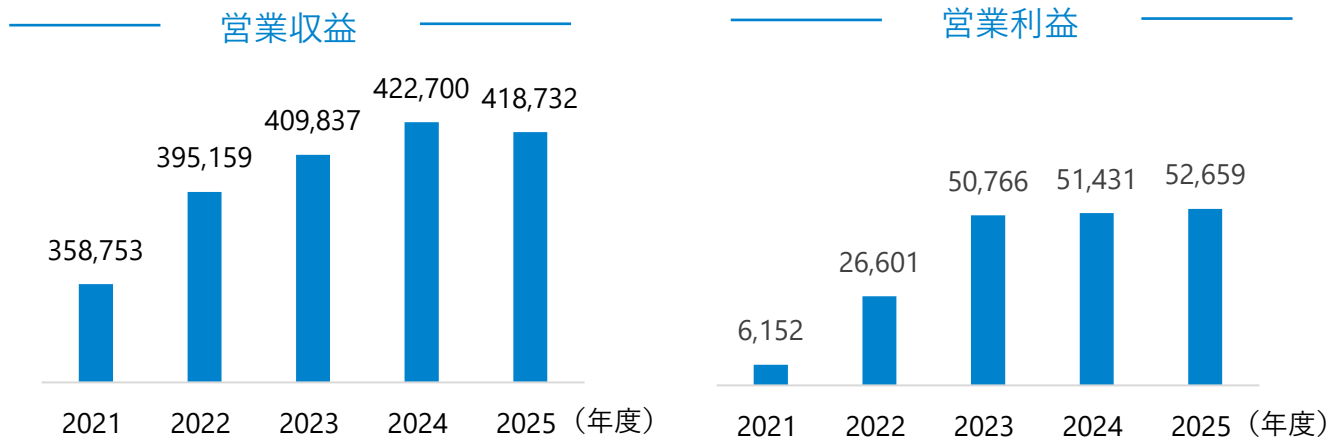
- **2026年12月末までに200億円自己株式取得 (自己資本比率を意識したBSコントロール)**
- 経営環境の変化や業績、株式需給バランス等を総合的に勘案したうえで実施時期を検討
(取得実績) 2023年度・2024年度合計：327億円

1株当たり配当金の推移 (予想含む)



I. 会社概要 (業績の概要)

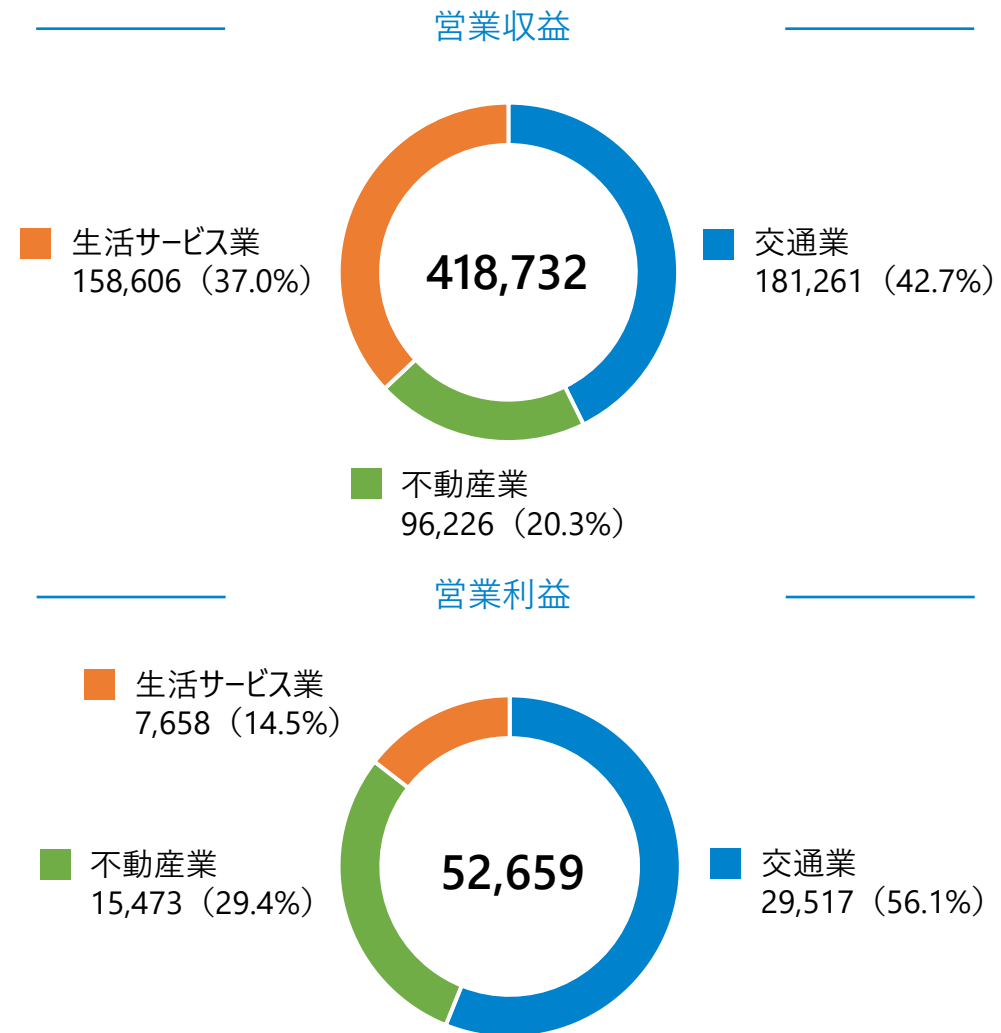
■ 連結業績の推移 (単位：百万円)



■ セグメントおよび主な会社 (連結子会社：29社、持分法適用関連会社：1社)

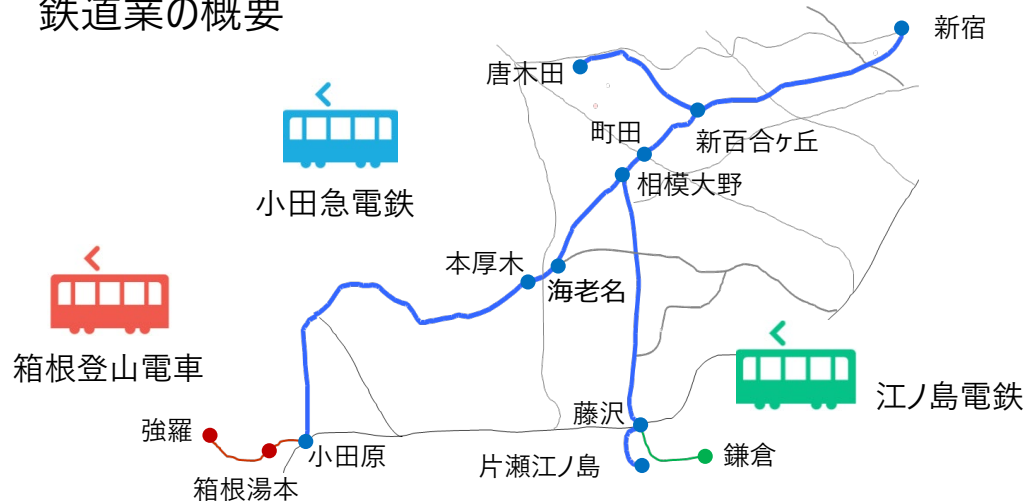
交通業	鉄道業	バス業	 小田急電鉄	 江ノ島電鉄	 小田急バス
	その他				
不動産業	分譲業	賃貸業	 小田急電鉄	 小田急不動産	 小田急SC ディベロップメント
	その他				
生活サービス業	百貨店業	ストア・小売業	 小田急商事 (ストア・小売)	 小田急リゾート (ホテル)	
	ホテル業	レストラン・飲食業	その他		

■ 2025年度セグメント別連結業績 (単位：百万円)



II. 事業内容 (各セグメントの概要 ~交通業~)

■ 鉄道業の概要



小田急電鉄の設備投資

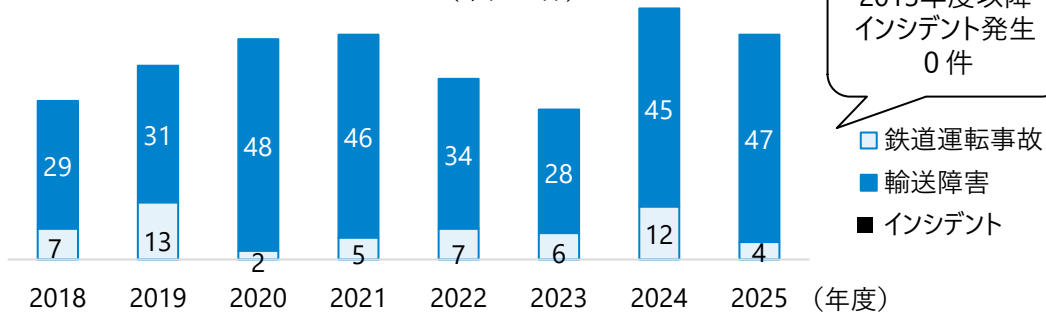
安全・防災対策強化とサービス向上

自然災害対策の推進 (耐震補強等)
ホームドア整備の拡大、車両新造・リニューアル

持続可能な運営体制の構築

ワンマン運転の導入、AI活用
総合車両所の移転 (相模大野→伊勢原)

鉄道運転事故等の発生件数
(単位: 件)



鉄道駅バリアフリー料金制度の活用

- 鉄道駅バリアフリー料金制度を活用することで、ホームドア等の整備を加速し、安全で移動しやすい環境を向上



登戸駅

[開始時期] 2023年3月18日

[設定額] 普通運賃大人 (IC、切符) 10円 通勤定期 設定あり

※ 小児: 料金加算後の大人金額の半額 (IC運賃・通学定期は設定なし)

[年間徴収額] 約50億円

ホームドア整備計画

- 2032年度までに計47駅130番線への整備完了を目指す (全70駅のうち)
※ 残る駅についても2030年代中頃までにホームドアを基本とする転落防止策の整備を目指す

①整備済 (19駅54番線)	新宿(特急ホーム除く)、代々木八幡、代々木上原、東北沢、下北沢、世田谷代田、梅ヶ丘、豪徳寺、千歳船橋、祖師ヶ谷大蔵、喜多見、狛江、登戸、町田、相模大野、海老名、本厚木、中央林間、大和
②2026年度(予定)	経堂、和泉多摩川
③2032年度まで(予定)	①②以外の新宿～伊勢原 全駅、多摩線全駅、湘南台、藤沢

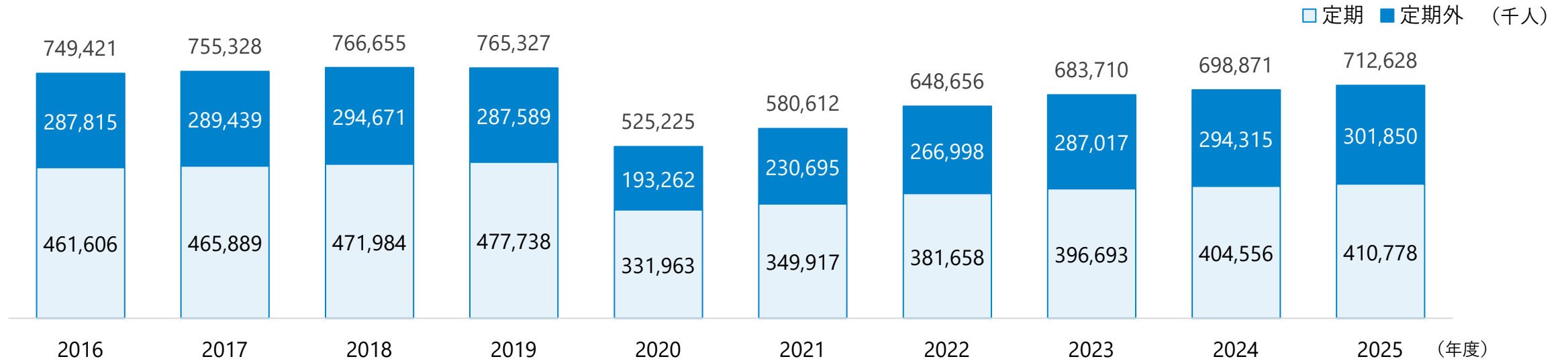
新型特急ロマンスカーの詳細設計着手

- 2029年3月就役予定
- コンセプト「きらめき走れ、ロマンスカー」
小田急沿線の豊かな水資源に着想を得た清らかさを感じさせる淡い水色のデザイン
- 展望席を含む、用途により選択できる多彩な座席で観光利用を誘引

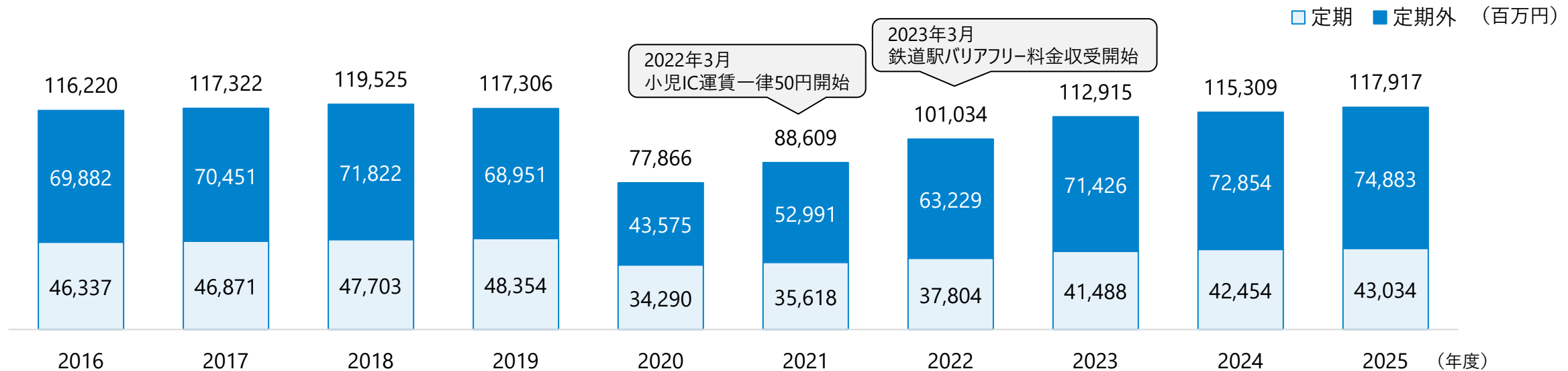


II. 事業内容（各セグメントの概要～交通業～）

小田急電鉄 輸送人員の推移



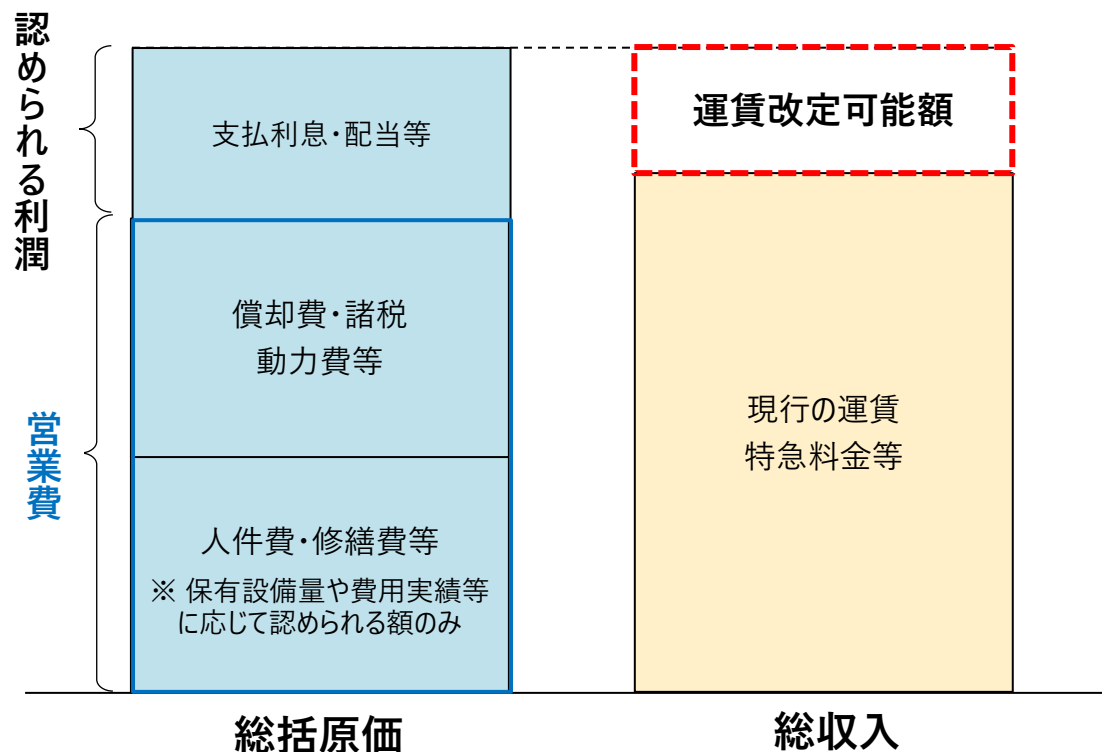
小田急電鉄 運輸収入の推移



II.事業内容（各セグメントの概要～交通業 鉄道運賃制度の概要～）

- 鉄道事業は、公共交通機関として、利用者利益の保護と鉄道事業の健全な発達を図る観点から、国による運賃制度が設けられている
- 運賃改定には、国土交通省への事前申請・認可が必要
- 申請時の計画上、**総括原価（営業費＋認められる利潤） ≧ 総収入** となる範囲で運賃改定が可能 *改定後3か年の計画値を用いる
スケジュール例）2025年度末改定の場合...2024年度～25年度申請（実績：2023年度、計画：2026年度～2028年度 で試算）

■ 鉄道運賃制度の概要



■ 普通旅客運賃（鉄道駅バリアフリー料金※を含まない）

※ 全区間一律10円加算

キロ程 (km)	きっぷ (10円単位)	ICカード (1円単位)	キロ程 (km)	きっぷ (10円単位)	ICカード (1円単位)
1～3	130	126	42～46	510	503
4～6	160	157	47～51	550	545
7～9	190	189	52～56	600	597
10～13	220	220	57～61	640	639
14～17	260	251	62～66	690	682
18～21	290	283	67～71	740	733
22～25	320	314	72～76	790	786
26～29	350	346	77～81	840	838
30～33	380	377	82～83	900	891
34～37	420	419			
38～41	470	462			

II. 事業内容（各セグメントの概要 ～交通業～）

■ バス業・タクシー業の概要

一般路線バス

- 東京・神奈川の都市圏を中心に運行しているほか、箱根・江の島・鎌倉・伊豆・熱海といった観光地でも運行

空港連絡バス

- 小田急沿線エリアを中心に、羽田空港・成田空港発着の路線を運行

高速バス

- 小田急沿線エリアを中心に、横浜・箱根・御殿場エリア、千葉、秋田、岐阜、岡山等発着の路線を運行

タクシー

- 東京23区、武蔵野市、三鷹市、町田・多摩地区で運行
- 東京の名所を巡る観光タクシーや空港発着の定額制タクシーを運行



小田急バス



立川バス



小田急ハイウェイバス



箱根登山バス



江ノ電バス



東海バス

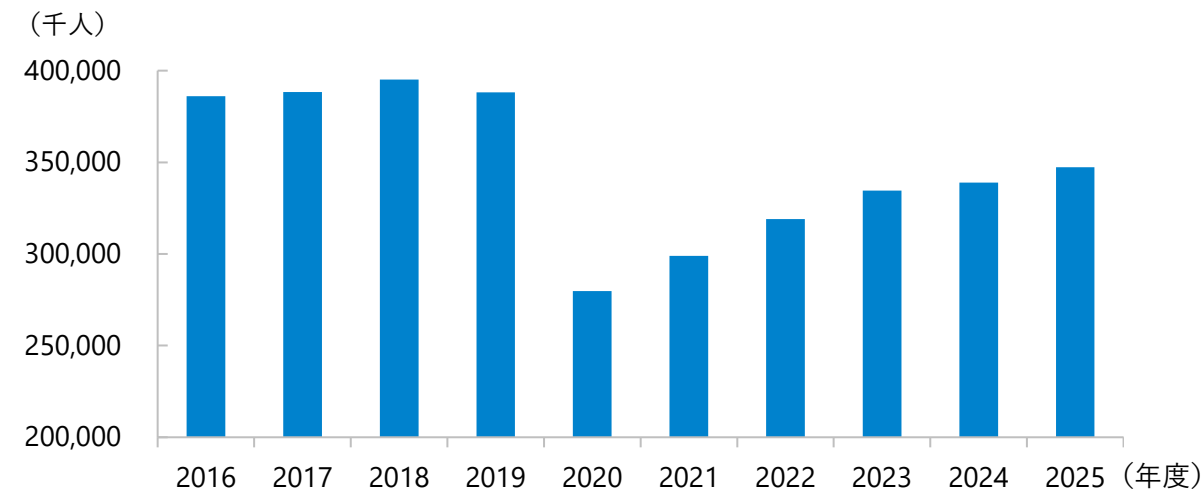


神奈川中央交通
※ 持分法適用関連会社



小田急交通

バス業 輸送人員の推移



■ バス業データ



保有車両数 3,314台 ※ 2025年8月



路線長 12,603km ※ 2025年8月



輸送人員 347,354千人

II. 事業内容（各セグメントの概要 ~不動産業~）

■ 不動産業の概要

不動産分譲業

- 販売 ▶p.15
「LEAFIA（リーフィア）」のブランドで新築マンション・戸建を販売
- 買取再販
良質な中古住宅等をリフォームし、高品質なリノベーション住宅として再販
- 投資開発 ▶p.15
賃貸レジデンス、オフィス、物流施設等の収益不動産を開発、投資家に売却
- その他
仲介業、リフォーム事業、新築事業（注文住宅）、マンション管理事業等



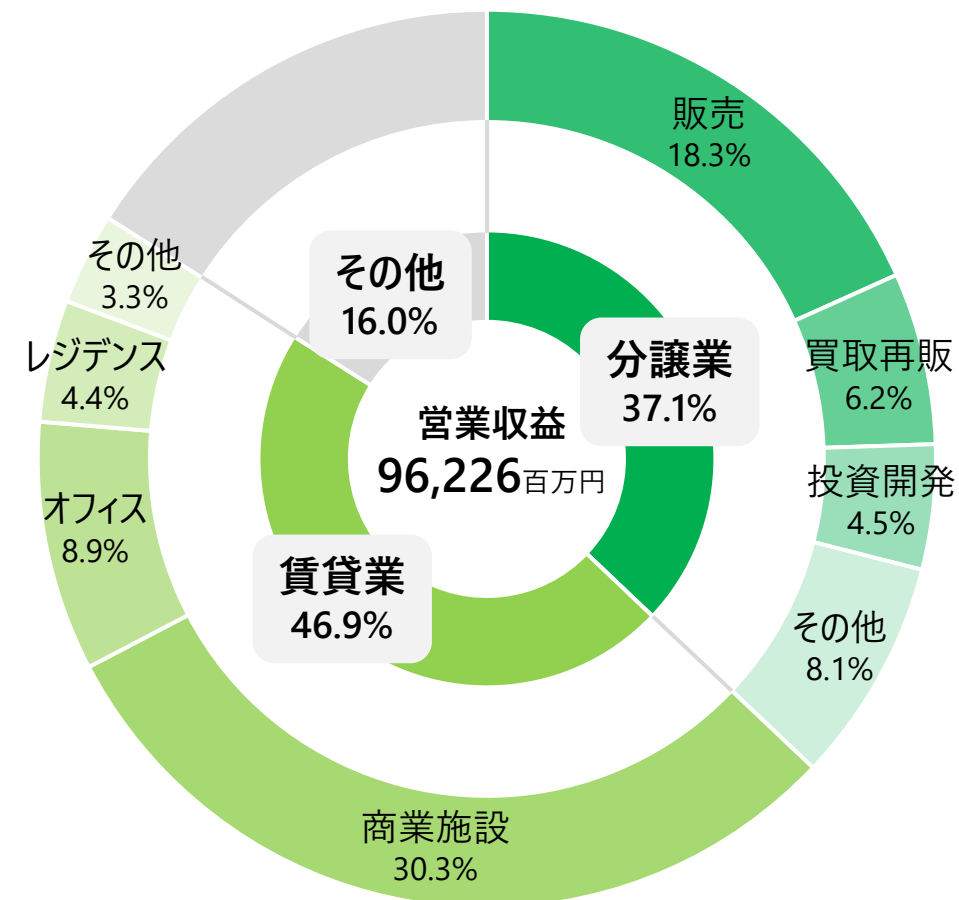
不動産賃貸業 ▶p.16

- 商業施設やオフィス、レジデンス等の取得・開発、賃貸運営事業等

その他

- 商業施設やオフィス、駅等の建物の維持管理をするビルメンテナンス業

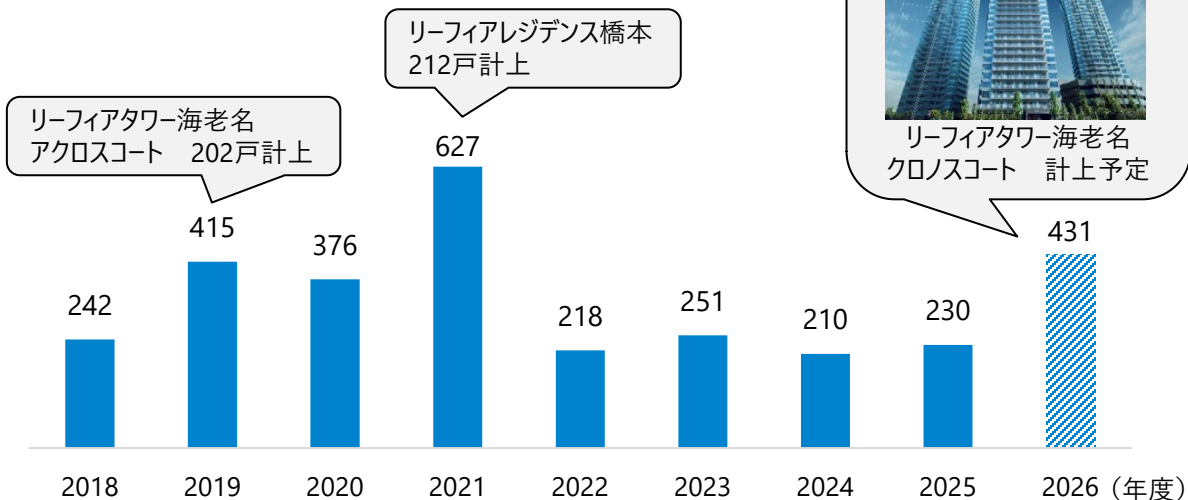
■ 不動産業 2025年度営業収益内訳



II. 事業内容（各セグメントの概要 ~不動産業~）

販売

■ 計上戸数の推移（土地・戸建・マンションの合計）



■ 2026年度計上予定物件（主な分譲マンション）

物件名	総戸数※2	所在地	販売開始時期	引渡開始時期(予定)
リーフィアタワー海老名 クロスコート	304戸	神奈川県 海老名市	2025年6月	2027年1月
リーフィアレジデンス 栗平テラス	127戸	神奈川県 川崎市	2025年6月	2026年12月
リーフィアレジデンス 海老名ブライツガーデン※1	116戸	神奈川県 海老名市	2025年11月	2027年1月
プランズタワー橋本※1	91戸	神奈川県 相模原市	2024年9月	2026年9月

※1 他社との共同事業
※2 当社グループの持分

投資開発

■ 主な売却物件

(年度)

2023



OFLC一宮（愛知県）※3、4



PROFICA
品川南大井※3

2024



OFLC岡崎（愛知県）※3、4

2026(予想)



OFLC蟹江（愛知県）※3



OFLC福岡志免※3

※3 OFLC（小田急不動産ロジスティクスセンター）
小田急不動産(株)が開発する物流施設ブランド



※4 現在は名称が異なります

II. 事業内容（各セグメントの概要 ~不動産業~）

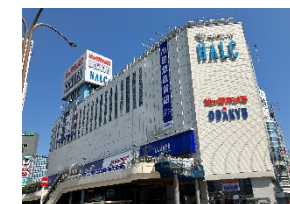
小田急電鉄が保有する主要な賃貸ビル

商業施設名	場所	賃貸面積
ハルク	新宿	約27,000㎡
フラッグス	新宿	約9,500㎡
経堂コルティ	経堂	約7,500㎡
成城コルティ	成城学園前	約7,900㎡
新百合ヶ丘エルミロード	新百合ヶ丘	約41,000㎡
相模大野ステーションスクエア	相模大野	約26,000㎡
ビナウォーク	海老名	約65,000㎡
ViNA GARDENS PERCH	海老名	約26,000㎡
本厚木ミロード	本厚木	約21,000㎡

オフィス名	場所	賃貸面積
小田急サザンタワー	新宿	約20,000㎡
ViNA GARDENS OFFICE	海老名	約12,000㎡



小田急サザンタワー



ハルク



経堂コルティ



新百合ヶ丘エルミロード

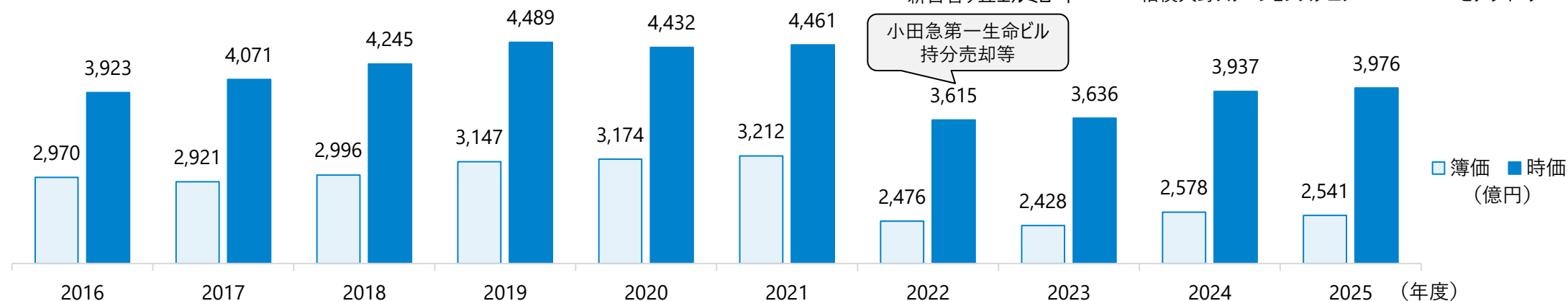


相模大野ステーションスクエア



ビナウォーク

賃貸等不動産の時価・簿価推移



II. 事業内容（各セグメントの概要 ~生活サービス業~）

百貨店業およびストア・小売業の概要

スーパーマーケット
「Odakyu OX」「Odakyu OXMART」




● 小田急沿線を中心に31店舗

● 三鷹台店

栗平

小田急百貨店 新宿店




● 藤沢 ● 長後 ● 大和 ● 南林間

小田急百貨店 ふじさわ



小田急百貨店 町田店



コンビニ
「セブン・イレブン」



小田急沿線に50店舗

II. 事業内容（各セグメントの概要 ～生活サービス業～）

■ ホテル業の概要（2026年7月現在）

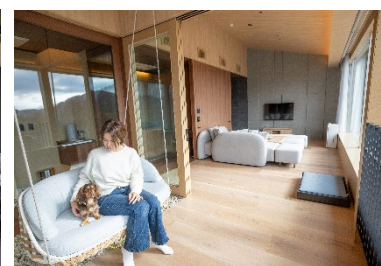
ホテル開業・リニューアル実績と今後の予定



タイプ	場所	ホテル名	客室数
シティホテル	新宿	ホテルセンチュリーサザンタワー※1	375室
	相模原	ホテルセンチュリー相模大野	120室
	本厚木	ステーションホテル本厚木	61室
リゾートホテル	箱根	山のホテル	89室
		はつはな	35室
		箱根ゆとわ	72室
		RETONA HAKONE	15室
		箱根ハイランドホテル※2	休館中
		SYLA HOTEL 箱根強羅※3	4室
御殿場	HOTEL CLAD	182室	
運営受託	御殿場	edit x seven 富士御殿場	49室



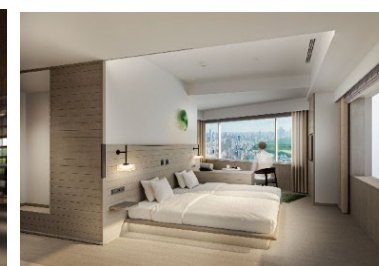
はつはな（奥湯本）



RETONA HAKONE（桃源台）



箱根ハイランドホテル（仙石原）



ホテルセンチュリーサザンタワー（新宿）

※1 2026年10月1日より宿泊営業休止、2028年春頃リニューアルオープン予定（リニューアル後の客室数は377室）

※2 2025年5月7日より休館、2027年秋頃リニューアルオープン予定（リニューアル後の客室数は65室）

※3 2026年5月29日に取得・営業開始

■ レストラン飲食業の概要（161店舗）



いまがわ食堂
三浦漁港直卸

東京洋食屋

神田グリル

■ その他



リゾート人材派遣業



箱根エリアでの物販

II. 事業内容 (沿線における取り組み)

■ 主な取り組み



II. 事業内容 (新宿エリアにおける取り組み)

■ 新宿駅周辺に保有する主な物件

新宿西口ハルク
開業:1962年
賃貸面積:約27,000㎡
※ 2000年取得



新宿西ビルディング
開業:1965年
賃貸面積:約2,500㎡
※ 2016年取得



小田急エース
開業:1966年
賃貸面積:約3,500㎡



新宿駅西口地区開発計画 ▶ p.21

旧・小田急百貨店 (本館)
開業:1967年
賃貸面積:約61,000㎡



旧・新宿ミロード
開業:1984年
賃貸面積:約8,700㎡



解体・新築工事中

フラッグス

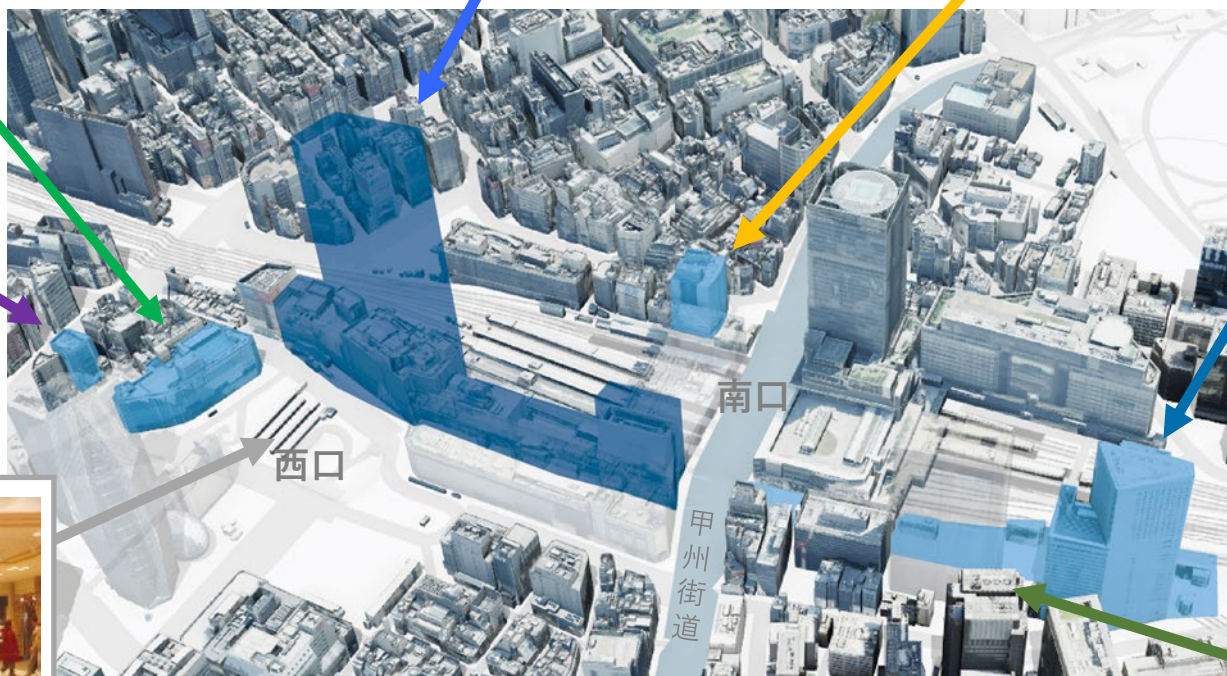
開業:1998年
賃貸面積:約9,500㎡



小田急サザンタワー
開業:1998年
賃貸面積:約47,000㎡
※ ホテル・オフィス等



新宿サザンテラス
開業:1998年
賃貸面積:約4,100㎡



II. 事業内容（新宿エリアにおける取り組み）

■ 新宿駅西口地区開発計画

- 都市としての国際競争力向上を目指す新宿グランドターミナル構想のリーディングプロジェクト
- 新たな体験を提供する商業機能やハイグレードなオフィス機能、ビジネス創発機能を整備
- インバウンド観光ハブ化に向けた集客・送客機能の強化
- 沿線観光の玄関口に相応しい駅施設への改良
- まちづくり面でも行政や企業、大学等のさまざまなプレイヤーとの連携施策を継続実施
- 当社の総投資額：約1,300億円

スケジュール

2022年10月：解体着工、旧・小田急百貨店新宿店本館 営業終了（A区）

2024年3月：新築着工

2025年3月：旧・新宿ミロード 営業終了（B区）

2026年4月：オフィスリーシング開始（A区）

2029年度：竣工予定

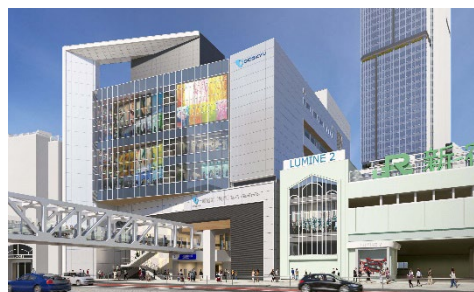
2030年度：開業予定



オフィスリーシング資料（A区）



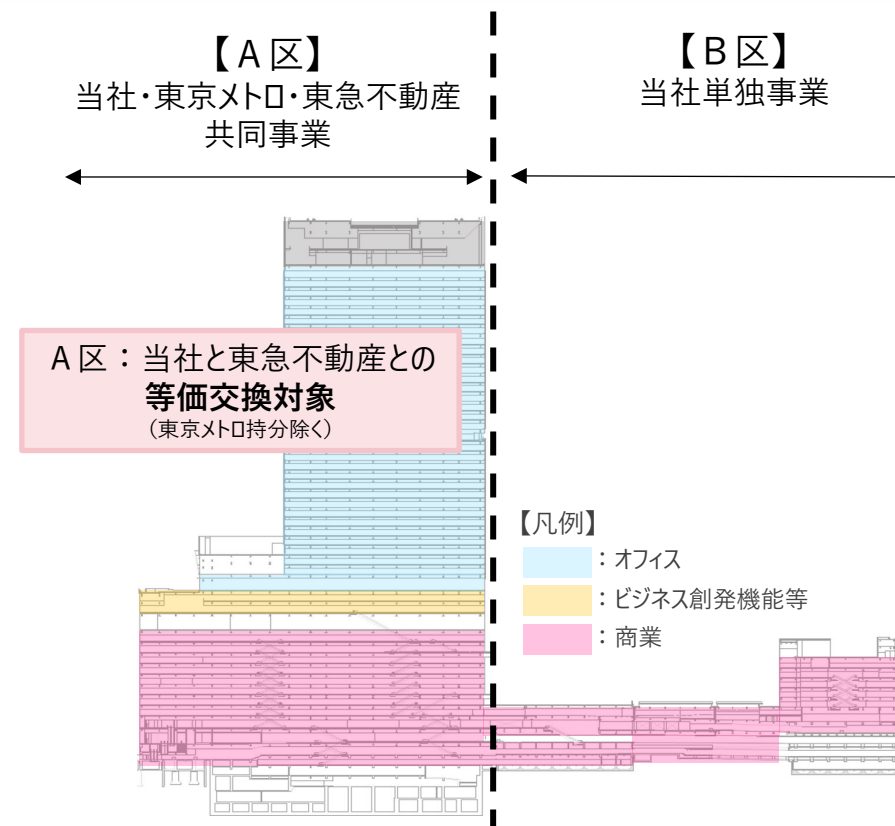
東西デッキグランドシャフト



甲州街道側（B区）



新宿駅地上ホーム（B区）



A区		B区	
約8,060㎡	敷地面積	約7,660㎡	
約251,000㎡	延床面積	約28,000㎡	
約260m	高さ	約50m	
47階～48階 頂部 14階～46階 オフィス 12階～13階 ビジネス創発 地下2階～10階 商業	主要用途	3階～8階 商業 地下2階～2階 商業・鉄道	

II. 事業内容（下北沢エリアにおける取り組み）

下北沢地区上部利用計画

- ・開発コンセプト「B E Y O U. シモキタらしく。ジブンらしく。」
- ・敷地面積：約27,500m²* ※ 連続立体交差事業および複々線化事業に伴う世田谷区・渋谷区の土地 ※ 交差道路、鉄道施設にかかる面積は除く
- ・異なる各駅周辺の特徴を踏まえ、約1.7kmにわたる開発エリアに個性豊かな13の施設群を配置し、地域の方々とともに街を作る（2022年5月全面開業）

地価（住宅地・2026年）

	対2017年
下北沢駅 半径1km	+47.7%
世田谷区全体	+38.4%



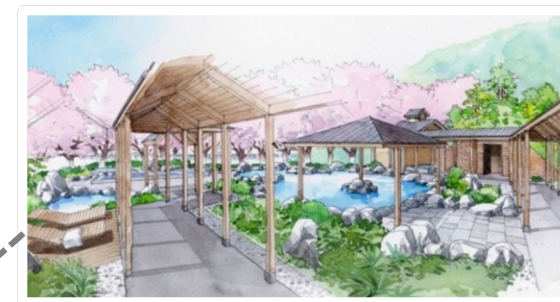
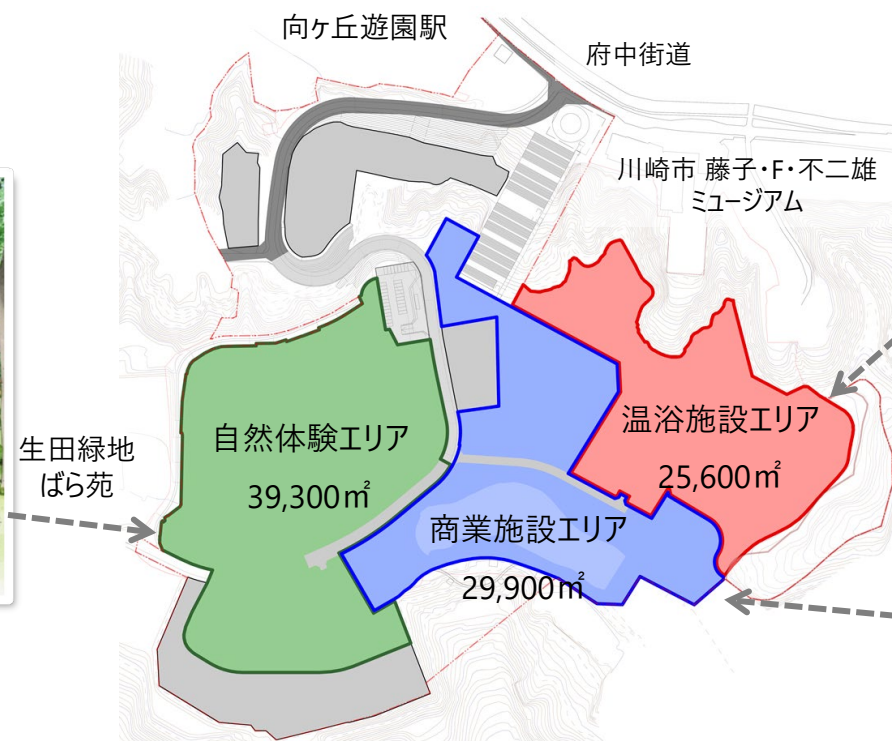
II. 事業内容（向ヶ丘遊園エリアにおける取り組み）

■ 向ヶ丘遊園跡地利用計画

- 開発コンセプト「人と自然が回復しあう丘」
- 跡地全体を「商業施設エリア」「温浴施設エリア」「自然体験エリア」の3つのゾーンに分け、身近なレジャーやちょっとした非日常を感じられる特別な空間や体験を創出
- あわせて、地域に新たな付加価値の提供を図るとともに、「自然、文化・芸術、教育」といった既に地域に存在する豊かな資産をつなぐハブ機能としての役割を果たす



開発区域
面積：約162,400㎡



II. 事業内容（海老名エリアにおける取り組み）

海老名駅間地区開発計画

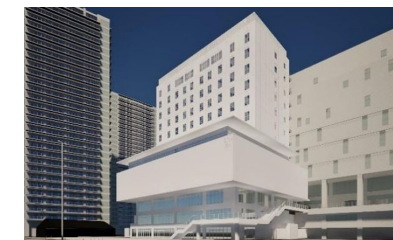
- 開発コンセプト「憩う・くらす・育む ～ViNA GARDENS～」
「職，住，商，学・遊、ウェルネス」
- 敷地面積 約35,000㎡
- 延床面積 約102,000㎡（予定・分譲除く賃貸物件のみ）
- 投資額 約364億円（小田急電鉄分・分譲除く）
- 主な開発の沿革
 - 2017年 ①商業施設「TERRACE」開業
 - 2020年 ②タワーマンション1棟目 引渡
 - 2021年 ③タワーマンション2棟目 引渡
④ロマンスカーミュージアム 開業 ※ 本計画の対象外
 - 2022年 ⑤オフィス棟「ViNA GARDENS OFFICE」竣工
⑥サービス施設棟「PERCH」開業
 - 2027年～ ⑦タワーマンション3棟目 引渡開始（予定）
⑧(仮)ファミリー棟・(仮)ホテル温浴棟 開業（予定）



④ロマンスカーミュージアム



⑧(仮)ファミリー棟
保育・学習、ペット向け機能等
2027年春開業予定



⑧(仮)ホテル温浴棟
エリア内の天然温泉を活用
2028年開業予定

人口（2026年）

	対2015年
海老名駅半径1km	+45.5%
海老名市全体	+8.2% (約14万人)

地価（住宅地・2026年）

	対2015年
海老名駅半径1km	+67.3%
海老名市全体	+24.2%

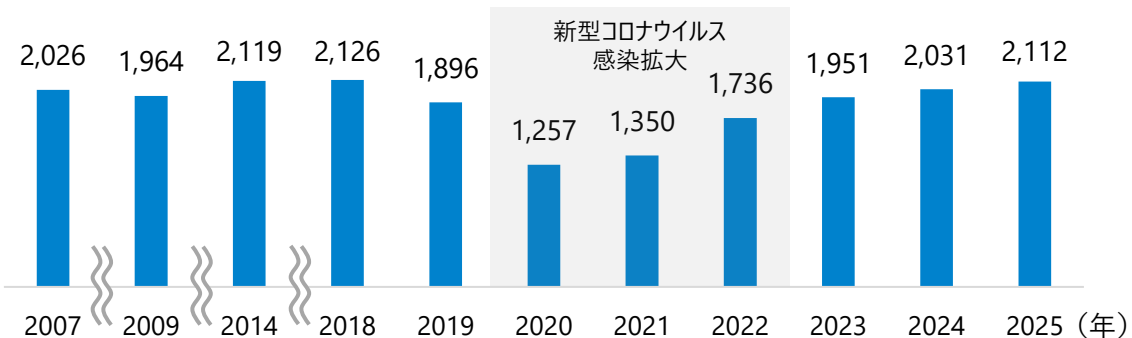
小田急海老名駅 乗降客数

実績	2025年度：13.9万人
マテリアリティ 目標	2030年度：15万人 2040年度：16万人

II. 事業内容（観光における取り組み ～箱根エリア～）

- 箱根町観光客数は2025年 2,112万人と、コロナ前の2018年に迫る水準まで回復しており、箱根エリアの観光需要は堅調に推移
- 箱根フリーパス販売枚数は2025年度 95.2万枚、インバウンド比率40.8%と、インバウンド向け販売枚数が過去最高を更新
- 引き続き、ホテルのリニューアルや新規開業、新型ロマンスカーの就役、箱根フリーパスをはじめとした料金・運賃の改定等により、さらなる観光収益の拡大を目指す

箱根町 観光客数（万人）※1



※1 箱根町ホームページ「入込観光客数」より

(参考) 2025年観光客数 他エリア比較

単位：万人	観光客数	宿泊者数（外国人比率）
箱根町	2,112	414（15.2%）
日光市※2	1,073	310（5.9%）
軽井沢町※3	792※4	469（-）※4

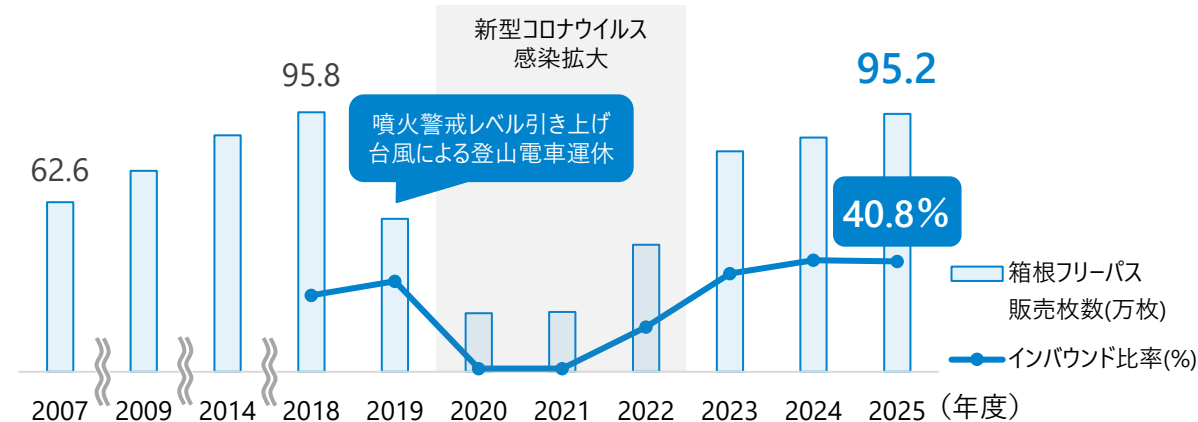
※2 日光市ホームページ「観光に関する統計」より

※3 2024年 ※4 長野県「観光地利用者統計調査」より、外国人比率はデータ無

箱根エリア 観光収益（交通・ホテル・物販等）

単位：百万円	2024年度 実績	2025年度 実績	2026年度 予想
観光収益	28,138	29,758	32,147
うちインバウンド	7,349	8,278	8,826

箱根フリーパス 営業成績



箱根フリーパス等の料金・運賃改定（2025/10）

- 物価高や人手不足の影響を踏まえつつ、安全性を維持・向上し、さらなる箱根周遊の魅力向上のため、2025年10月1日に料金改定等を実施

< 料金・運賃改定（一例） >

※3 小田原駅発

※4 桃源台港～箱根町港・元箱根港

単位：円	改定前	改定後
箱根フリーパス（大人2日間有効※3）	5,000	6,000
箱根海賊船（大人片道※4）	1,200	1,700
箱根ロープウェイ（大人片道）	1,500	2,000

II. 事業内容（観光における取り組み ～湘南エリア～）

付加価値向上に向けた主な設備投資（実績・計画）

- 2020年 片瀬江ノ島駅リニューアル
- 2021年 シェアサイクル「SHONAN PEDAL」サービス開始
- 2022年 江の島頂部にある観光庭園「江の島サムエル・コッキング苑」、頂部までの屋外エスカレーター「江の島エスカー」リニューアル
- 2024年 スケートボードやカフェが楽しめる「鶴沼海浜公園HUG-RIDE PARK」オープン
- 2026年 江ノ電 新型車両「700形」運行開始
- 2028年～ 藤沢駅リニューアル（予定）、かながわ女性センター跡地利活用事業 開業（予定）



片瀬江ノ島駅



江ノ電 新型車両「700形」



かながわ女性センター跡地利活用事業
施設イメージ



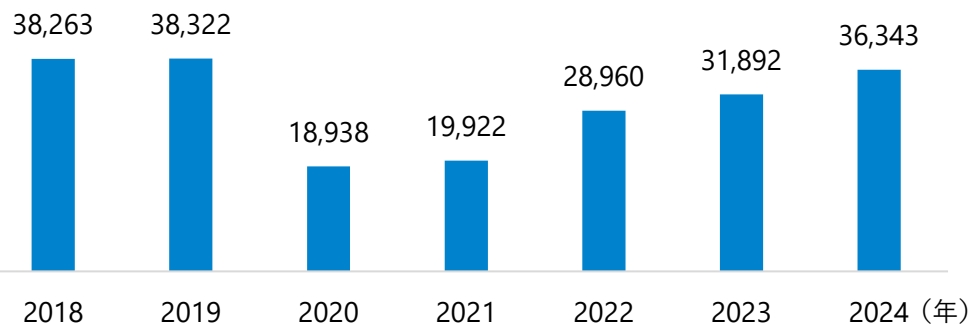
HUG-RIDE PARK（鶴沼海岸）



藤沢駅 リニューアルイメージ（2028年3月末完成予定）



鎌倉市・藤沢市 観光客数（千人）※



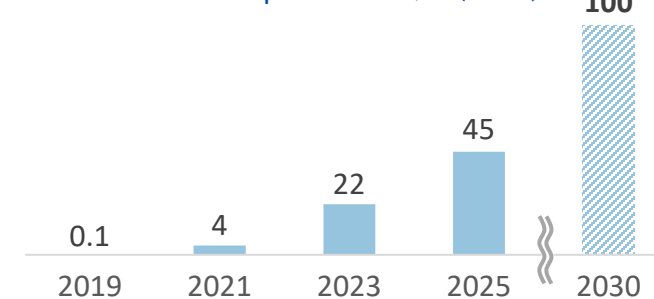
※ 神奈川県ホームページ「神奈川県市町村別観光客数」より

II. 事業内容（観光における取り組み ~MaaS~）

■ 小田急の取り組むMaaS

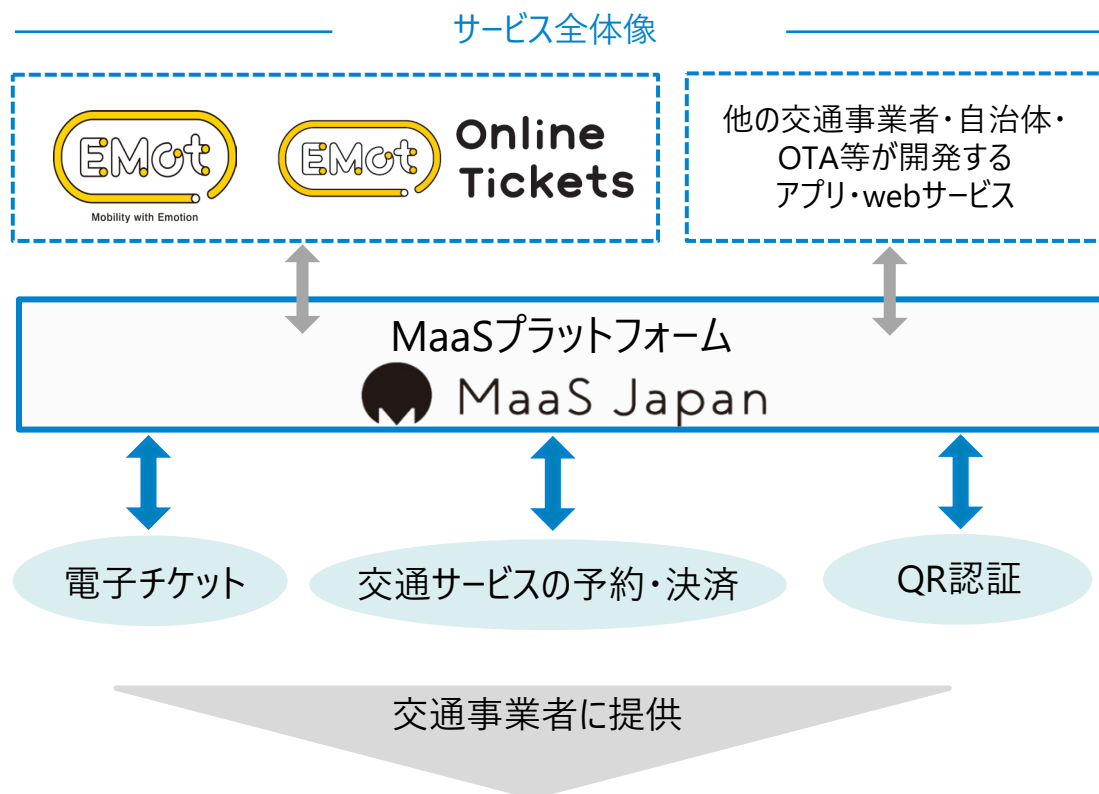
- 2019年より、新たなチケットサービス「EMot」および共通データ基盤「MaaS Japan」を開発・運営
- これまで自社サーバー（オンプレミス）で管理していた交通チケットをクラウド上で制御可能とすることで、クラウド型ソフトウェア（SaaS）との連携や、オンライン旅行代理店（OTA）を通じた販路拡大を効率的に展開
- 同業他社や自治体等の連携事業者拡大により、2030年度の取扱金額100億円を目指す

EMot・MaaS Japanの取扱額（億円）



目指す将来像

足元ではシステムの機能拡充と電子チケットの拡販に注力。将来的にはAIの活用を進め、効率化とビジネスモデルの変化に対応していく



フェーズ	得られる主な効果
I. EMot・MaaS Japanの機能強化	<ul style="list-style-type: none"> 多言語対応や決済手段の拡充によるユーザー利便性の向上 設備投資や維持管理費用の効率化
II. Klook等OTA連携によるチケットの拡販	<ul style="list-style-type: none"> 国内・インバウンド旅行者への販路拡大 チケット発券・認証にEMotを活用することで現場オペレーションを効率化
III. AIの活用	<ul style="list-style-type: none"> AIを活用したシステムの効率化 AIエージェントによるオープンAPI経由の利用増加

西武鉄道、東武鉄道、遠州鉄道、秩父鉄道、JR九州、小湊鉄道 等

(参考) その他開示資料

- **数値データ（財務）**

https://www.odakyu.jp/ir/financial/factbook/dq4094000002t6t-att/FinancialData2025_JPN.xlsx

- **ESGデータ（環境・従業員・ガバナンス）**

<https://www.odakyu.jp/sustainability/data/>

※ 2025年度実績は10月頃開示予定です

- **統合報告書**

<https://www.odakyu.jp/ir/integratedreport/>

- **コーポレート・ガバナンスに関する報告書**

<https://www.odakyu.jp/ir/integratedreport/o5oaa10000020qh9-img/corporate-governance-report.pdf>

小田急電鉄株式会社

注意事項

スライドに記載されている、計画、見通し、戦略のうち、歴史的事実でないものは、将来の見通しであり、これらは公表時点で入手可能な情報から得られた当社の経営者の判断に基づいています。したがって、実際の業績は経済情勢等の変化によって業績見通しとは異なる可能性があります。